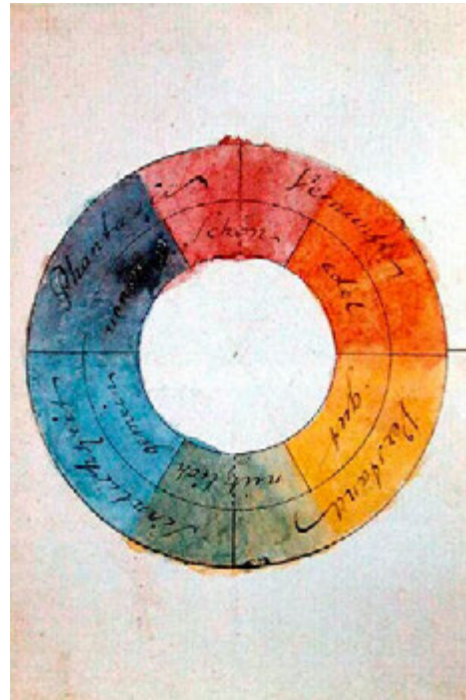


# 「色と言葉の関係」

基礎教育 松中義大 Yoshihiro Matsunaka



ゲーテ『色彩論』より

光のうち特定の波長が人間の網膜に刺激を与えて色として認識されるが、その認識した色をどのように区分するかは、言語・文化の影響を受けている。色名・色彩語は、基本とされる色では各言語で共通だが、区分の仕方やその詳細さは各言語で極めて異なる。このように、視覚がとらえた色をどのように認識・認知するか、という点では、言語と極めて密接に関連していると言える。この研究では、きわめて基本的な認知・認識プロセスである色の知覚がどのように我々の概念形成や言語と関わるのかを認知言語学の観点から解明を試みている。さらに、日本語では「灰色の人生」「黄色い歓声」などのように色彩がいわば比喩的に意味拡張している例が見られ、「この問題に白黒をつける」のように色彩が我々の道徳・倫理的価値観と結びついている例も見られる。こうした意味拡張のメカニズムについて解明することを目指している。



国際基督教大学・同大学院修了。高校での教員経験の後、東京工芸大学基礎教育に着任しました。専攻は認知言語学。英語だけでなく広く言語一般が人間の認知システムの中でどう位置づけられるかについて研究しています。特に「メタファー（隠喩）」を通して、人間がどのように抽象概念や創造性・想像性を獲得したのか、という点に重点を置いて研究活動を行っています。

認知言語学では、言語の意味はすべてが恣意的に決定されるのではなく、身体的・経験的基盤に根ざすものであるという立場を取る。たとえ抽象的な概念（とそれを表す言語）であっても、より具体的な経験などを基盤として、メタファー（隠喩）などによって推論することで理解し、体得していると考える。例えば、時間に関する言語表現は、空間に関する表現が比喩的に（ただし比喩とは感じないほどに慣用化されて）用いられている。「過去を振り返る」と我々が言う時、「過去」が話者の背後空間に存在し、それを体の向きを回転させて認識するかのように言語化される。このように、肉体の前後左右に基づく身体的・経験的な空間（平衡）感覚が、時間感覚の元になっているわけである。

そうすると、色の知覚が極めて基本的な認知能力であるがゆえに、何らかの形で人間の概念形成や、言語と関連があるのではないかと、ということが考えられる。様々な先行研究によって、色の好悪などの感情・感性との関連は解明が進んでいる。本研究では、色と概念との関連性について研究を進めている。

昨年度から、ある語（概念）について直感的にどのような色が連想されるか、について調査を行っている。古くはゲーテの『色彩論』にも、色がどのような意味を持つのか、ということは論じられている。ここでは、反対の方向での連想、つまり概念→色を調査した。

東京工芸大学芸術学部生で、筆者が開講している基礎教育系科目の受講者のうち、調査への参加に同意した学生を対象とし、人数は138名（年齢18～25歳、男:66名、女:72名）であった。回答者には、13色の色見本を渡しておき、口頭で話した語（例：「未来」）から連想される色の色見本から一つ直感で選んでもらうこととした。前の回答との整合を考慮することのないよう、いくつかのジャンルの語を無作為に並べ、また、各設問の間に簡単な四則演算を行ってもらうことで、前の設問への回答が極力影響しないよう配慮した。

以下の表に調査結果を示す。それぞれの項目で統計的に有意な回答の偏りが見られている。概要としては以下のとおりである。

- ・感情については、肯定的なもの（よろこび、幸せ）が暖色系であるのに対し、否定的なもの（悲しみ）は寒色系である。ただし、怒りは「赤」が突出する。これらは、感情の身体的・生理的基盤と合致するとみられる。
- ・「友情、信頼、希望」と「裏切り」についても同様に色でも対照が見られる。
- ・「未来」は白と青系統、黄が主流である。対義語である「過去」は、灰色、青系統となっている。

本来、抽象概念とされるものは、抽象であるが故に「色」の認識は無いはずであるが、このように規則的な色との対応関係が観察されるということは興味深い。現在、回答者の年齢を広げて300名規模で調査を実施中である。

	白	黄	橙	赤	桃	紫	青	水	緑	黄緑	茶	灰	黒
よろこび	5	51	13	9	53	0	1	1	2	3	0	0	0
幸せ	10	12	10	4	94	1	0	5	1	0	0	0	1
怒り	2	0	1	92	1	4	1	1	4	0	27	1	4
悲しみ	2	1	0	0	4	4	79	21	3	0	2	13	8
友情	0	17	36	40	7	1	11	4	9	6	5	0	2
希望	15	79	16	8	3	0	4	7	4	2	0	0	0
信頼	10	8	20	15	19	5	9	7	30	6	4	0	2
裏切り	4	0	0	11	1	45	6	0	6	0	12	14	39
未来	37	17	8	4	9	2	16	27	5	6	1	5	1
過去	5	0	4	2	0	3	19	9	10	2	12	36	10
前	20	9	17	31	22	0	4	11	11	1	4	1	4
後ろ	1	0	0	2	1	9	26	3	12	0	17	22	45
右	3	9	9	31	8	2	15	7	25	7	17	3	1
左	4	5	3	6	8	4	23	20	41	13	7	1	1

表 単語から連想される色の回答分布